

新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ

発熱など

冬の感染症への対応

発熱などの症状は受診前に

まずは電話で相談を

本格的に寒くなり、インフルエンザなどが流行する時期になります。発熱など、新型コロナウイルス感染症との判別が難しい症状を訴える人が大幅に増えることが予想されます。

そこで、受診者に円滑に必要な医療を受けていただき、医療機関での院内感染防止を図るため、受診の前に、まず電話で相談ください。

今年には新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が危惧されています。医療機関の負担を軽減するためにも、手洗いなどの感染症予防対策の徹底をお願いします。

日頃受診している医療機関がある人

まずは、日頃受診している医療機関に電話で相談ください。その医療機関での受診が難しい場合は、医師から受診可能な医療機関を案内します。

相談する医療機関に迷われる人

長門市保健センター

☎ 23-1133

(8時30分～17時15分)

※土日、祝日、年末年始を除く

「山口県」受診・相談センター

☎ 083-902-2510

(専用相談ダイヤル・毎日24時間対応)

相談する医療機関に迷われる場合や夜間・休日に急に発熱があった場合は、「山口県」受診・相談センターへお電話ください。症状や感染予防、検査方法などのさまざまな相談に対応し、毎日24時間、スタッフによる適切な助言や情報提供が受けられる専用相談ダイヤルです。

■冬も換気をしましょう

寒い時期となりましたが、感染リスクを下げるために、暖房器具で部屋の温度を調整しながら、換気をしましょう。



■感染リスクを下げながら会食を楽しめる工夫

政府の新型コロナウイルス感染症対策部会の提言によると、これまでのクラスター発生の状況などから、「飲酒を伴う懇親会」「大人数や長時間におよぶ飲食」「マスクなしでの会話」「狭い空間での共同生活」「居場所の切り替わり」といった『5つの場面』で感染リスクが高くなることがわかりました。

同時に、感染リスクを下げる工夫をすることで感染拡大を防いだ事例も報告されています。以下のような工夫を行い、感染リスクを下げながら会食を楽しみましょう。

- 感染リスクを下げる工夫
- ・ 飲酒をするのであれば、
- ① 少人数・短時間で
- ② なるべく普段一緒にいる人と
- ③ 適度な酒量で

- ・ はしやコップは使い回さない
- ・ 席の配置は斜め向かいに
- ・ 会話するときはなるべく

マスクを着用

- ・ ガイドライン遵守のお店で
- ・ 体調が悪い人は参加しない
- 飲食の場面を含め引き続き守ってほしいこと

- ・ 基本はマスク着用、三密回避
- ・ 室内では換気をよくして
- ・ 集まりは少人数・短時間
- ・ 大声は出さずに
- ・ 会話はできるだけ静かに
- ・ 手洗い、アルコール消毒

Go To Eat やまぐち食事券

飲食店も感染症対策

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出の自粛などの影響により、甚大な影響を受けている飲食業に対し、期間を限定した官民一体型の需要喚起を行っています。

「Go To Eat やまぐち食事券」が使える登録店舗では、業界ガイドラインに基づき、感染症予防対策に取り組んでいます。

